



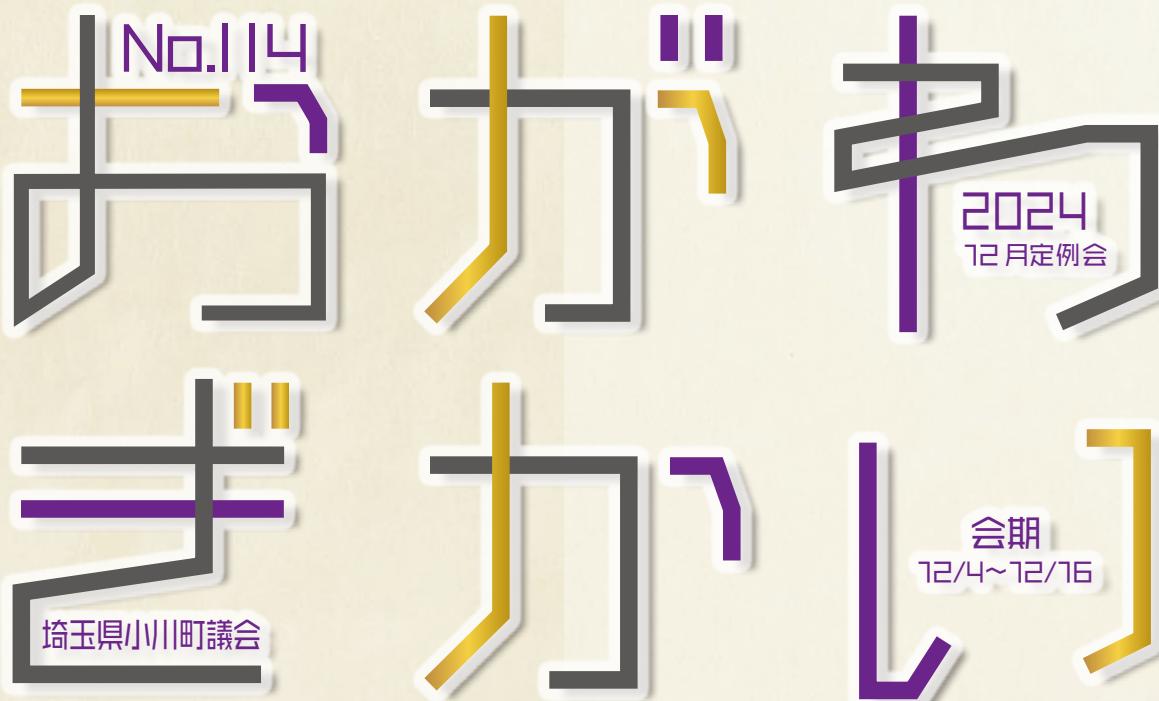
「小川和紙マラソン」ゴールは目前！ラストスパート!!

裏表紙に関連記事

特集 P.2-3  
 「細川紙」の紙漉き技術  
 ユネスコ無形文化遺産  
 登録から10年  
 1300年 時代を超えて  
 受け継ぐ「技」

P.6  
 総合福祉センター  
 「パトリアおがわ」の方向性  
 全6部屋に  
 エアコン設置  
 貸館業務の早期再開へ

特別号の表紙に使用した画像は、いずれも当町が誇る「細川紙」です。右手は「細川紙技術者協会」前会長の故・鷹野禎三氏が平成14年に漉いた紙で、左手は現会長・内村久子氏が漉いた紙です。時間の経過とともに「白さ増す」和紙は、天然素材（国産楮・町内産トロロアオイ）の証。1300年を超えて受け継がれてきた伝統の「技」をさらに後世へ！議会も応援しています！和紙に合わせてあしらった2色は「紫色」と「金色」。優れて価値があり気品漂う「高貴」なさまと細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年記念」をイメージしました。



P.12  
 議員の聴く×つなぐ  
 和紙作りを支える  
 楠かしき・楠むき  
 を取材



P.11  
 本格的な議論がスタート  
 「議員定数を検討する特別委員会」  
 16人の大きな一歩